

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52491	保育表現講座 Study of Infant Expression	幼児教育学科・こどもの生活学科教員			2	選択	1年集中講義

科目の概要

本科目においては、保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育保育要領に基づき、保育における様々な表現活動について、基本的な知識と技術を身につけることを目的とする。保育活動では、音楽、身体、言葉といった領域の遊びの活動を通して、子どもたちは楽しみながら発達を遂げていく。子どもにとって表現とは何か、保育者としての望ましいかわり方などを学ぶ。就学までに育みたい資質、能力を理解し、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の中の、「言葉による伝え合い」、「豊かな感性と表現」の二項目を中心に学ぶ。自分の表現についての課題は何かを発見し、学んだ知識や技術を生かして課題解決方法を考え、取り組んでいく力を身に付ける。これらの内容はディプロマ・ポリシーの③に相当する。

学修内容	到達目標
① 幼稚園教育や保育の基本について理解する。 ② 身体、言葉、音楽、造形といった表現遊びの活動の内容を学び、具体的な活動の実践を通して、表現遊びの楽しさを知る。 ③ 保育者の役割について理解し、子どもの感性や表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について学ぶ。	① 幼稚園教育や保育の基本について概説することができる。(D. P.①、②) ② 身体、言葉、音楽、造形といった表現遊びの活動の内容を学び、具体的な活動の実践を通して、表現遊びの楽しさを理解することができる。(D. P.②③④) ③ 保育者の役割について理解し、子どもの感性や表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について考えることができる。(D. P.②③④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自分自身の表現活動を見つめなおし、保育者として豊かな表現ができるよう、日常的に努力をすることができる。
	働きかけ力	自分の意見の異なる他者に対しても、積極的に語りかけ、対話をしていく努力をすることができる。
	実行力	課題レポートに、主体的かつ積極的に取り組みことができる。
考え抜く力	課題発見力	乳幼児が表現活動を楽しむために何をしていくべきか、常に省察し、課題を見出していく姿勢を持つ。
	計画力	課題等に計画的に取り組み、提出期限を守ることができる。
	創造力	乳幼児が楽しめる表現遊び等を考案していくことができる。
チームで働く力	発信力	授業中にまわりが理解しやすいように、自分の意見を整理しながら、述べることができる。
	傾聴力	授業中は、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。
	柔軟性	グループ討論等において、他者の言動を受け止め、他者を援助していくことができる。
	状況把握力	グループ討論等において、自分の役割を判断し、的確な言動ができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	感情的に意見が対立した場合も、自身の感情を抑制し、冷静になる方法を持っている。

テキスト及び参考文献

テキスト：教員の作成プリント
 参考文献：平成31年度改訂『保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領』

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教育実習・保育実習・保育内容（表現）・保育内容（言葉）・子どもの音楽表現・子どもの造形・子どもの体育
 資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
・日常生活の中で、言葉による伝え合いや表現活動を大切にしていくこと。 ・子どもたちの楽しめる表現遊びについて積極的に調べる努力をすること。	・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 ・授業態度及び発表内容、提出レポート等によって評価する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
		レポート	30	①	✓	
				②	✓	
③				✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			
		②	✓			
		③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①幼稚園教育や保育の基本について理解する。②身体、言葉、音楽、造形といった表現遊びの活動の内容を学び、具体的な活動の実践を通して、表現遊びの楽しさを知る。③保育者の役割について理解し、子どもの感性や表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について学ぶ。以上の3つの学修内容のすべてにおいて、レベルS（秀）は十分な理解と主体的に課題を発見と解決に取り組む姿勢がみられ、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。</p> <p>A（優）は、上記の3つの学修内容すべてにおいて十分な理解ができており、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることが基準となる。</p>	<p>①幼稚園教育や保育の基本について理解する。②身体、言葉、音楽、造形といった表現遊びの活動の内容を学び、具体的な活動の実践を通して、表現遊びの楽しさを知る。③保育者の役割について理解し、子どもの感性や表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について学ぶ。レベルB（良）は、上記3つの学修内容が理解できており、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総評価が、基本的な修得以上、到達レベルA（優）までの評価が基準となる。</p> <p>レベルCは（可）は、上記の学修内容が概ね理解できており、筆記試験、レポート、社会人基礎力の総評価が基本的に習得できているという評価であることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	4/15 オリエンテーション 保育現場について知る。 保育職への就職について	講義 グループディスカッション (伊藤照美・福井千夏：幼児教育)	様々な保育現場があることを知り、子どもの魅力や保育職の魅力を感じることができる。	(予習) どのような保育者になりたいか考えをまとめておく。 (復習) 各グループの意見を振り返りまとめ、レポート提出する。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	4/22 保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育要領の説明を受け、保育の基本や表現遊びの大切さを学ぶ。	講義 DVD視聴 グループ討議・発表 (伊藤久美子：こどもの生活)	授業内容を理解し、遊びの楽しさを感じることができる。	(予習) 自分の出身園をHPで調べる。 (復習) 振り返りシートを完成させ提出する。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
3	5/13 保育現場での遊び 子どもの発達や安全に配慮した遊びの援助を学び、実践する。	講義 DVD視聴 グループワーク 実践 (伊藤久美子：こどもの生活)	授業内容を理解し、安全に配慮した援助の実践ができる。	(予習) 乳幼児に多い事故について調べる。 (復習) 振り返りシートを完成させ提出する。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	5/27 子どもに伝わる表現について学び、実践する。	講義 制作 (入口愛：幼児教育)	子どもに伝わる表現方法には、どのようなものがあるのかを理解することができる。	(予習) 子どもの言葉の発達について関心を持っておく。 (復習) 授業で制作した自己紹介を身近な人にも披露する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5	6/3 子どもと楽しむ絵本について学び、絵本の読み聞かせを実践する。	講義 発表 (入口愛：幼児教育)	絵本の読み聞かせの基本を理解することができる。	(予習) 好きな絵本を図書館で借りておく。 (復習) 身近な人に絵本の読み聞かせを披露する。	180	主体性 創造力 傾聴力 規律性
6	6/17 幼児の器楽合奏について学ぶ①	演習 表現活動 (桂山たかみ：幼児教育)	保育現場で使用する打楽器の奏法の理解や、仲間と合奏する楽しみを味わうことができる。	(予習) 幼稚園で使う楽器を調べておく。 (復習) 授業で覚えた様々な打楽器の奏法をまとめる。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
7	6/24 幼児の器楽合奏について学ぶ②	演習 表現活動 (桂山たかみ：幼児教育)	打楽器を使って異なるリズムの重なりを楽しむことができる。	(予習) 簡単なリズム譜が読めるようにしておく。 (復習) 授業で覚えたリズムの復習をしておく。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	9/2 保育表現(音楽) リズム遊び(ボディパーカッションと楽器)について学び、実践する。	演習 表現活動 (本多峰和：幼児教育)	素材や奏法による音色の違いを理解することができる。リズム遊びについて考えることができる。さらに動きと音の関係性を学び、実践する。	(予習) ボディパーカッションと民族楽器について調べる。 (復習) 様々な楽器に興味を持ち、動きと音の関係や音色についても関心を持つ。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	9/9 保育表現(身体) 子どもが楽しめる身体リズムについて学び、実践する。	演習 表現活動 (伊藤照美: 幼児教育)	幼児の基本的な身体リズムを理解できるようになる。	(予習) 幼児の身体リズムに関するあそびを調べておく (復習) 前回に学んだ運動遊びを予習しておく	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	9/16 保育表現(造形) 身近材を活用した造形表現について学び実践する	演習 表現活動 (松井素子: こどもの生活)	幼児の造形表現材料について理解することが出来る	(予習) 様々な幼児の造形作品(立体・工作)を調べる; 空き箱・折り紙・のり・ハサミを持参する (復習) 家庭内で作品に使えるような身近材をさがす	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	10/14 保育表現(造形) 身近材を活用した造形表現「ケーキ」を制作する	演習 表現活動 (松井素子: こどもの生活)	幼児の造形表現材料について理解し、自分の好きなケーキを作ることが出来る	(予習) 自分の作りたいケーキの材料を、家庭で出る身近材から持参する (復習) 家庭内で作品に使えるような身近材を保育者目線でさがす	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	10/28 保育表現(造形) ボディペインティングについて学び、実践する。	講義 制作 (山本辰典: 幼児教育)	授業内容を理解し、自らの身体を用いた絵画制作、造形遊びをすることができる。	(予習) 作品の構想を練る。 (復習) 授業の活動内容をまとめる。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	11/4 保育表現(音楽) 子ども受容をめざした音楽表現について実践を通して学ぶ。	演習 表現活動 (永津利衣: こどもの生活)	授業内容を理解し、自らの身体を用いて音楽表現遊びをすることができる。	(予習) 小学生だった時の音楽の授業の様子を思い出しておく。 (復習) 学習したことを日常生活で意識する。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
14	11/11 保育表現(音楽) 歌遊びと子どもの発達について実践を通して学ぶ。	演習 表現活動 (永津利衣: こどもの生活)	学修した歌遊びを披露することができる。	(予習) 歌遊びについて調べてくる。 (復習) 学習した歌遊びを覚えてできるようにする。	180	課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	11/18 授業内容を振り返り、学んだこと、今後の課題などを記述し、発表、振り返りレポートを提出する。	演習 グループディスカッション 振り返りシート記述 (伊藤久美子: こどもの生活)	授業内容を振り返り、理解が不十分な点について見直し、今後の課題を見出すことができる。	(予習) 15回の授業を振り返り、学んだことやわからない点等をまとめておく。 (復習) 今後の課題を明らかにし、振り返りレポートを提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力